1000 までの数、ならべ隊!

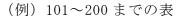
単		元	100 をこえる数	対象学年	2	年
ね	6	V	100 をこえる数についても,これまで学習して 数が拡張されているというイメージをもつことが			

1 準備するもの

教師:黒板掲示用に拡大した数の表 (1~100, 101~200, 10~1000), 数字カード

2 学習のしかた

- (1) $1 \sim 100$ の数の表を見て、気付いたことを発表し合う。
- (2) $101\sim200$, $10\sim1000$ の数の表にも, (1) で見つけた法則性が当てはまることに気付けるようにする。
 - ・ $101\sim200$ も $1\sim100$ と同じように、縦や横の数の増え方などの 法則が当てはまることを確認する。



- ・表を横に見ると、1~100までの表と同じで1ずつ増えている。
- ・表を縦に見ると、 $1 \sim 100$ までの表と同じで 10 ずつ増えている。



表を使った発表

- (3) 10~1000 の数並べゲームを行う。
 - ・10~1000 までの 100 枚の数カードと 10×10 ますを用意する。
 - ・数カードを並び終える時間を計り、ペアやグループで競う。

3 学習上の留意点

・1~100の数の表で気付いたことが、別の数の表でも当てはまることを確認するために、表を提示するときに板書が隠れないようにする。



数カード並べ

- ・10×10 ますのよさをいかした法則性に気付けるように、横並びだけでなく、縦の並びに 着目したり、位ごとに数を見比べたりするような声掛けを意識する。
- ・縦横の数の並び方の法則は、数並ベゲームの際にも活用できることを確認する。

4 学習の効果

- ・ $1 \sim 100$ の数の並びと、 $101 \sim 200$ の数の並びとの法則の類似性が見いだせることで、その先の大きな数の見通しをもつことができる。
- ・ $1 \sim 100$ の数の並びと、 $10 \sim 1000$ の数の並びとの類似性に気付くことで、大きな数への抵抗感を減らすことができる。

5 参考資料 (コピーして使えます)

1000	990	980	970	960	950	940	930	920	910
900	890	880	870	860	850	840	830	820	810
800	790	780	770	760	750	740	730	720	710
700	690	680	670	660	650	640	630	620	610
600	590	580	570	560	550	540	530	520	510
500	490	480	470	460	450	440	430	420	410
400	390	380	370	360	350	340	330	320	310
300	290	280	270	260	250	240	230	220	210
200	190	180	170	160	150	140	130	120	110
100	90	80	70	60	50	40	30	20	10